

(第 1 面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
筑大病管理第25－261号	
令和 7 年 6 月 2 4 日	
都道府県知事	殿
提出者	
住 所 茨城県つくば市天久保 2 丁目 1 番地	
氏 名 国立大学法人筑波大学	
附属病院長 平松 祐司	
電話番号 029-853-3697	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の 2 第 10 項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	国立大学法人筑波大学附属病院事業場
事業場の所在地	茨城県つくば市天久保 2 丁目 1 番地 1
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医療・保健業
② 事業の規模	8 0 9 床
③従業員数	2 7 9 3 人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1－1， 1－2 のとおり

(日本工業規格 A 列 4 番)



特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2-1, 2-2のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	排 出 量	664. 949 t	— t
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>感染性廃棄物のうち、液状・泥状の物及び院内処理不適物は、優良認定処理業者に焼却により処分を委託している。</p> <p>上記以外の感染性廃棄物は院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出している。</p>		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	排 出 量	598. 454 t	— t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>感染性廃棄物のうち、液状・泥状の物及び院内処理不適物は、優良認定処理業者に焼却により処分を委託する。</p> <p>上記以外の感染性廃棄物は院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出する。</p>		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>別紙3のとおり</p>
②計画	<p>（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>—</p>

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） —		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 液状・泥状の物及び院内処理不適物以外の感染性廃棄物は、院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 液状・泥状の物及び院内処理不適物以外の感染性廃棄物は、院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出する。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分にに関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	664.949 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	664.949 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 本院で排出される感染性廃棄物のうち、液状・泥状の物及び院内処理不適物は、確実性と信頼性における優良認定処理業者に中間及び最終処分を委託している。 上記以外の感染性廃棄物は、院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出している。		

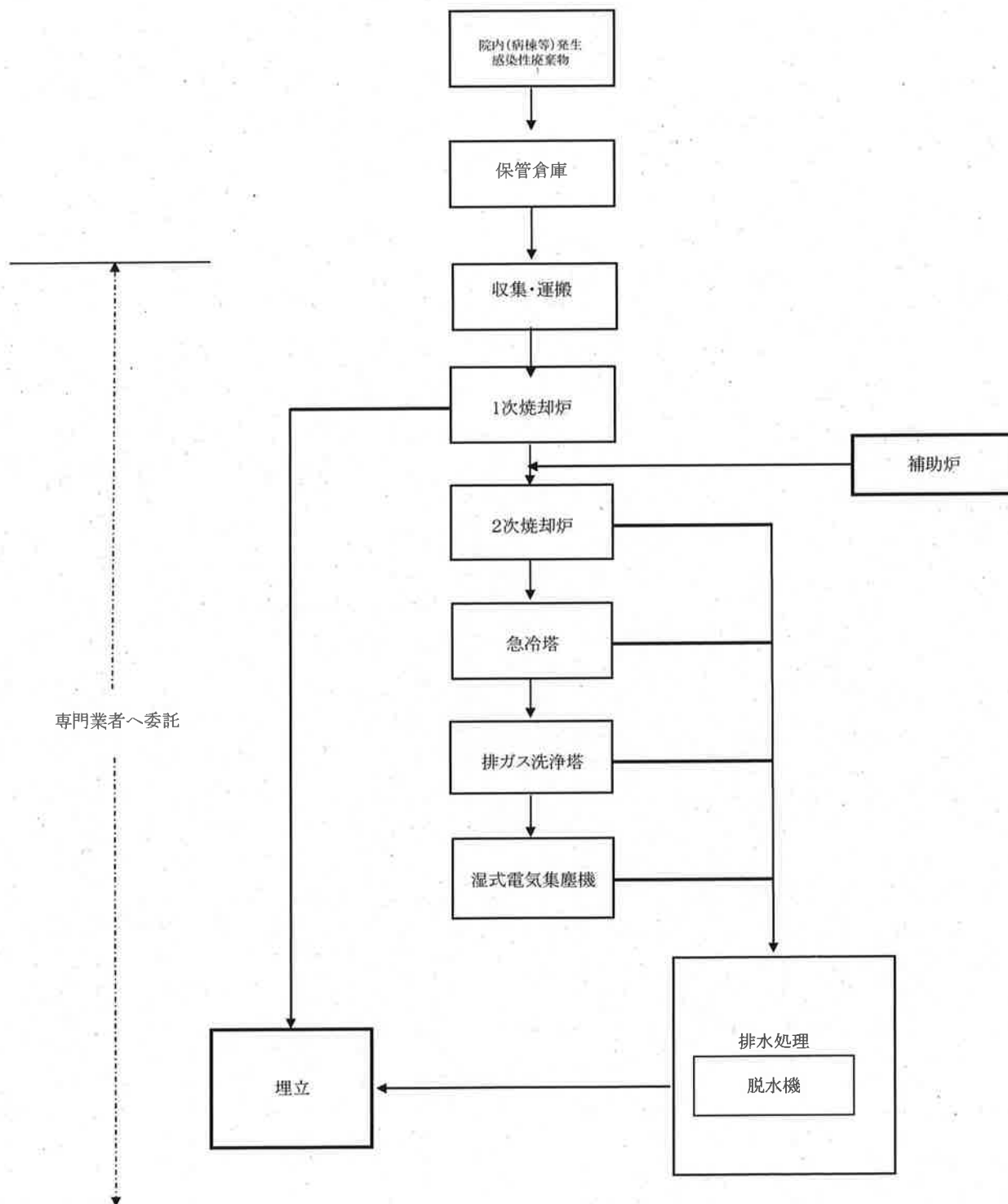
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	598.454 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	598.454 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 本院で排出される感染性廃棄物のうち、液状・泥状の物及び院内処理不適物は、確実性と信頼性における優良認定処理業者に中間及び最終処分を委託する。 上記以外の感染性廃棄物は、院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出する。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	664.949 t	
	(今後実施する予定の取組等) 本院で排出される感染性廃棄物については、電子マニフェストの登録を行う。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

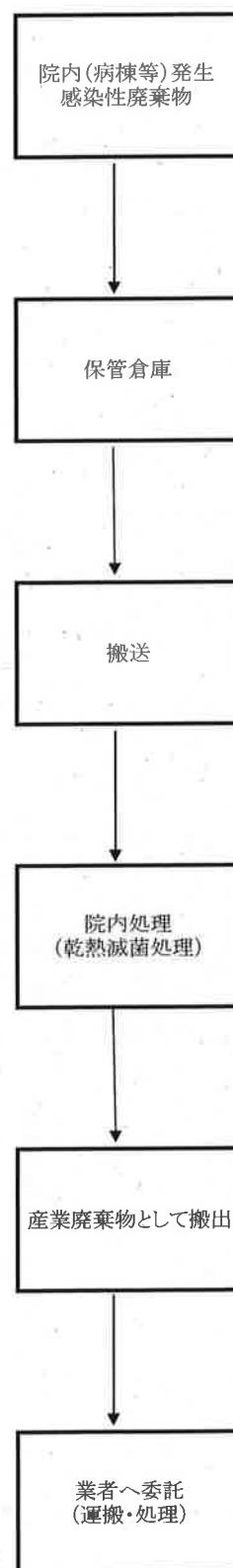
【当該事業場において現に行っている事業に関する事項】

④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程
外部委託分



【当該事業場において現に行っている事業に関する事項】

④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程
院内処理分



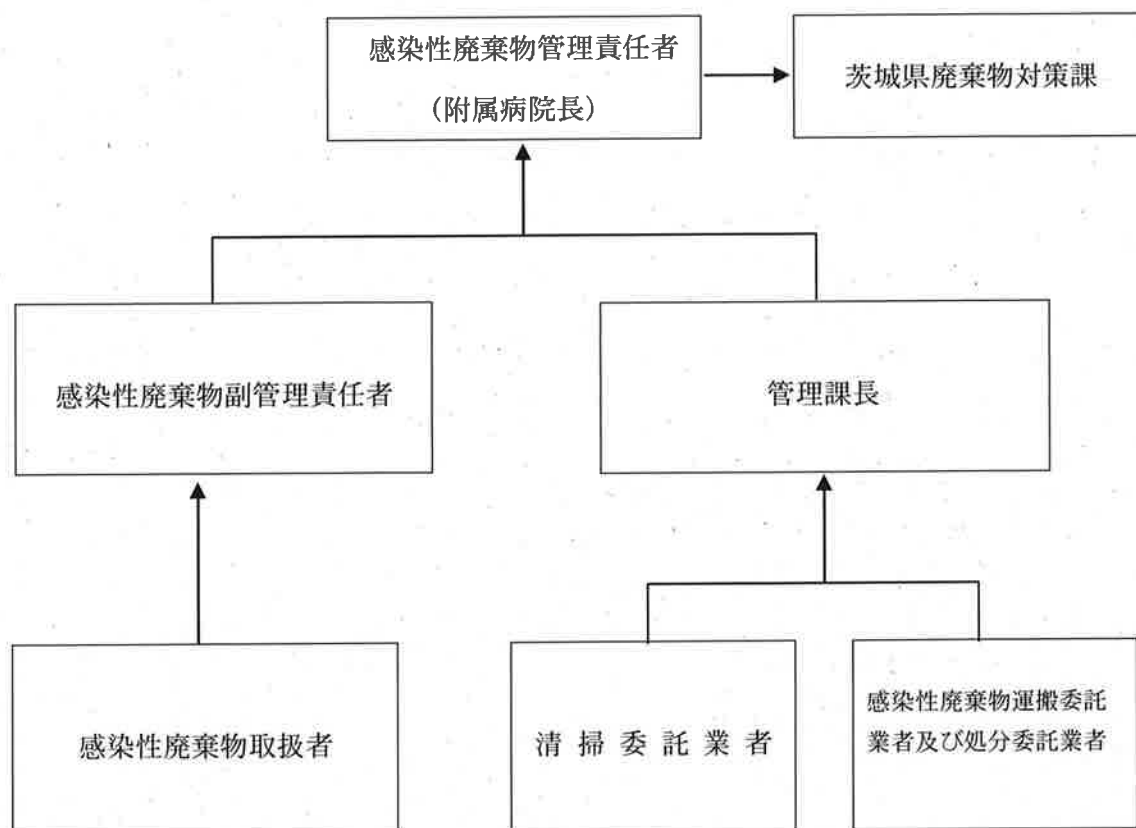
【特別管理産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項】

(1) 管理体制

管理責任者	副 管 理 責 任 者	
附属病院長	病棟	診療科長
	外来	診療科長
	検査部	検査部長
	手術部	手術部長
	放射線部	放射線部長
	輸血部	輸血部長
	光学医療診療部	光学医療診療部長
	医療情報経営戦略部	医療情報経営戦略部長
	病理部	病理部長
	リハビリテーション部	リハビリテーション部長
	血液浄化療法部	血液浄化療法部長
	医療安全管理部	医療安全管理部長
	医療品質管理部	医療品質管理部長
	病態栄養部	病態栄養部長
	感染制御部	感染制御部長
	臨床心理部	臨床心理部長
	遺伝診療部	遺伝診療部長
	臨床工学部	臨床工学部長
	医療連携患者相談センター	医療連携患者相談センター部長
	物流センター	物流センター部長
	総合周産期母子医療センター	総合周産期母子医療センター部長
	総合臨床教育センター	総合臨床教育センター部長
	緩和ケアセンター	緩和ケアセンター部長
	つくばヒト組織診断センター	つくばヒト組織診断センター部長
	陽子線治療センター	陽子線治療センター部長
	総合がん診療センター	総合がん診療センター部長
	小児総合医療センター	小児総合医療センター部長
	小児集中治療センター	小児集中治療センター部長
	認知症疾患医療センター	認知症疾患医療センター部長

病床管理センター	病床管理センター部長
つくばヒト組織バイオバンクセンター	つくばヒト組織バイオバンクセンター部長
国際部	国際部長
つくば予防医学研究センター	つくば予防医学研究センター部長
高度救命救急センター	高度救命救急センター部長
難病医療センター	難病医療センター部長
つくばスポーツ医学・健康科学センター	つくばスポーツ医学・健康科学センター部長
栄養サポートセンター	栄養サポートセンター部長
抗菌薬適正使用支援センター	抗菌薬適正使用支援センター部長
てんかんセンター	てんかんセンター部長
摂食嚥下サポートセンター	摂食嚥下サポートセンター部長
茨城県脳卒中・心臓病等総合支援センター	茨城県脳卒中・心臓病等総合支援センター部長
精神医療・自殺対策連携センター	精神医療・自殺対策連携センター部長
歯科技工室	歯科技工室長
外来化学療法室	外来化学療法室長
つくば市バースセンター	つくば市バースセンター部長
BNCT 研究センター	BNCT 研究センター部長
術後疼痛管理センター	術後疼痛管理センター部長
IBD センター	IBD センター部長
茨城県感染症対策支援センター	茨城県感染症対策支援センター部長
薬剤部	薬剤部長
看護部	看護部長
放射線治療品質管理室	放射線治療品質管理室長
国際戦略総合特区推進室	国際戦略総合特区推進室長
総合災害・救急マネジメント室	総合災害・救急マネジメント室長
再生医療推進室	再生医療推進室長
陽子線医学利用研究センター	陽子線医学利用研究センター長
つくば臨床医学研究開発機構	つくば臨床医学研究開発機構長

(2)緊急時連絡体制



筑波大学附属病院における廃棄物の分別方法

病院総務部管理課
令和6年11月27日改訂

区分	廃棄物の分類	種類形状	当該品目	梱包容器	梱包容器・ポリ袋等の色
感染性廃棄物	感染性廃棄物 (感染性産業廃棄物混合物を含む)	血液、体液、分泌物が付着した物	針等 ・点滴作成に使用した注射針・点滴セットの針・縫合針 ・処置や処置に使用した注射針・留置針(金属・プラスチック) ・ディスポーザブルマス・カミソリ、はさみ・アンプル、ガラス試験管 ・エアを抜くための針(ボトルごと黒箱へ)・液体が残っているボトル	耐貫透性 ポリ・プラスチック製密閉容器 (★黒箱)(80リットル)	黒色 (PPボックス)
		鋭利でないもの	医療材料 ・ガーゼ・脱脂綿・包帯・注射器・手袋・気管チューブ・吸引チューブ ・輸液点滴チューブ・経管栄養チューブ・ディスポーザブル器具 ・遮断面罩・ストーマ製品・ウロパック・カテーテル・紙くす ・テストドレーンユニット等の大型器材 ・人工心臓等の器具(血液、体液等が多量に残留する物も可) ・胆汁パック等のドレーナージパック(点滴入った状態の物も可) ・点滴チューブが接続された輸液パック(薬液が入ったまま可)	※薬液等は廃液容器 (ポリタンク等)に 集められたものを回収 針捨てボックス 耐貫透性容器(2リットル)	
		血液製剤	輸血パック・血液製剤が入っていたガラスビン	針捨てボックス 耐貫透性容器(8リットル)	
		個人防護具	・ICU、HCU、救急外来で使用したマスク ・標準予防策・経路別予防策で使用した手袋・ガウン・マスク 検査に關わるもの ・試験管・シャーレ・スピッツ・培養地 ・検尿等の紙コップ 手術、分娩、病室部で発生した膿瘍など	点検準備台の上にある 耐貫透性容器(8リットル)は注射液作 成に使用したもの専用の廃棄容器です。	
非感染性廃棄物	一般廃棄物	その他	・シーツ等布類・ナイロン・プラスチック製品・金属製品	専用耐熱性ビニール袋(40リットル)	白
		低オムツ[エコムシウ使用後]	※尿尿に使用した紙コップも可		
		抗がん剤 調製・投与に關わる物	抗がん剤に汚染した可能性のある全ての物 ・調製時・作業用シート、シリンジ、針、バイアル、アンプル等は、 チェック位のビニール袋に入れて密閉して廃棄する。 ・投与時・点滴ボトル、輸液ライン、留置針、注射時に使用した消毒綿等は、 ビニール袋に入れて密閉して廃棄する。		黒色 (PPボックス)
		感染性以外の 医療材料等 (プラスチック・ ガラス・陶磁器 等)	※液体の残っているものは黒箱へ ※金属類は粗大ゴミ置き場へ ・輸液製剤ボトル(点滴チューブが接続されている物・輸液製剤を除く) ・バイアル製品・インスリンカートリッジ・手指消毒剤、消毒薬の空容器 ・点滴作成で使用したディスポーザブル手袋・使用済み医療用空きビン ・血液・体液・分泌物汚染のない、教育・実習で使用した手袋・ガウン等 ・ギブス類、サポータ類、バンド類、ガラス製品	ポリ袋(ガラス、など鋭利な物は、布、ダン ボールなどで包み、袋に入れること)	青色
非感染性廃棄物	一般廃棄物	粗大ゴミ および 金属類	・機器類・電気製品(冷蔵庫、テレビ、パソコン、プリンタ等) ・家具類(机、椅子、ロッカー、マットレス等)・大きな発泡スチロール ・一斗缶(中身の無いもの)、業務用食料缶(中身をすいだもの) ・使用済みのスプレー缶(制汗スプレー・塗料スプレー等) ・業務用金属製品(手摺り金庫等)	区分は、事前に管理課 契約管理に連絡してください。	梱包不要
	一般廃棄物	図形物で 蓋やせる物	・生ゴミ・紙くす・繊維くす ・食品包装(菓子袋、カップ菓容器、弁当くす等) ・ディスポ製品、菓品の包装パック・その他プラスチック製品	もえるゴミ専用ごみ箱 ポリ袋	白色
	一般廃棄物	空き 空きビン ペットボトル	・飲食用(ジュース・菓子等)の空缶・空きビン・空ペットボトル類 ※酒類使用の果実酒等の空き缶を含む(但しビンは青色へ)	カン専用ごみ箱 ビン専用ごみ箱 ペットボトル専用ごみ箱	
	一般廃棄物	不燃ゴミ	・各種プラスチック類、飲食用以外の空き、金属製品等(飲食用空きはカン専用ごみ箱へ) ・草製品等 ※コンビニ弁当の空箱は蓋やせるゴミへ	もえないゴミ専用ごみ箱	透明
非感染性廃棄物	特定有害廃棄物	再生利用 (売品)	・新聞紙・雑誌等・古紙及び古布・布製品等	資源な蓋をひもで束ねること	ひも梱包
		水銀含有廃棄物	・蛍光灯、乾電池、水銀体温計等 ※収集依頼に基づき回収するので、それまでの間は各部署にて保管。 ※水銀体温計は、水銀が漏れないよう密閉容器を使用して下さい。	内容物を表示	取ボウル等に 分別

★黒箱の設置場所：非清潔区域(病棟汚物処理室、病棟・外来汚物槽周囲) 病室内には放置しないこと！

ただし、特殊エリア(ICU・HCU等のCU系、外来化学療法室、感染対策中の病室等)はこの限りではない。

